

桂川中学校 音楽科
主幹教諭

岡本 浩幸



残せるものを繋げていきたい

Toshiko Otsuka

笛で奏でる故郷の匂い

もともと土師の獅子組には少し前から女性の方もいたんですが、土師にはいなくて、お声をかけて頂いたのがきっかけで今の私があるんです。「伝統芸能を守り伝えたい」というのもあるんですけど、純粋に自分たちが子どもの頃から慣れ親しんだお祭り、故郷の匂いというものを、音にのせて伝えて行けたらなと思っています。

温かい町のままであって欲しい

町の良さを伝えていく努力は、もつとしなければいけないと思います。私、この町が好きなんです。獅子舞も桂川町そのものも。だから、町の良さや町の人たちの温かい繋がりを、ずっと残していきたいんです。



土師の獅子舞
(上土師)

大塚 敏子

誇りを持てる生徒を育てる

Hiroyuki Okamoto

生徒が感動を体験する場をつくっていききたい

そもそも音楽が嫌いな子は、いないと思っんです。音楽の授業は嫌いでも、音楽を聴く事が嫌いな子は多分いないでしょう。音楽を聴いたり演奏したりという体験をすることで、本物の感動を味わうことが出来ます。部活動(吹奏楽部)では、演奏する楽しさだけでなく、心や人間性の指導も行っています。それが音楽の本質につながるからなんです。

教育者としての使命

私自身が桂川中学校の卒業生。だからこそ後輩でもある生徒達には、しっかりと人生を歩んでほしい。「桂川中学校を卒業した」「わたしの故郷は桂川です」という誇りが持てる生徒を、育てなければいけません。